

食品科学科

QCサークル飛騨高山大会で「感動賞」



飛騨高山高が感動賞 QCサークル飛騨高山大会

岡本勝雅副幹事長(左から目録を受け取る
杉本華音さん)と高山市山田町飛騨高山高
校山田キャンパス

余剰生乳でチーズ製造

「小集団改善活動QCサークル飛騨高山大会」で感動賞を受賞した飛騨高山高

校(高山市)に、QCサークル東海支部岐阜地区からクーラーボックスが寄贈さ

れた。岐阜地区での大会に高校生が参加するのは初めてで、同校山田キャンパスで贈呈式が行われた。

QCサークルは、職場で働く人々が継続的に製品やサービスなどの質の管理・改善を行う小グループ。大会は職場環境や作業効率の改善などの活動成果を共有することを目的に、県内で年3回開いている。

同校食品科学科乳加工班はコロナ禍で牛乳が余ったことから、昨年からは生乳100%チーズの製造・販売に取り組んだ。今回はその活動が評価された。

贈呈式には関係者7人が出席し、同地区の岡本勝雅副幹事長が生徒代表の杉本華音さん(18)に目録を手渡した。岡本副幹事長は「こうした活動をぜひ、継続してほしい」と話し、杉本さんは「今後はチーズをホテルのレストランでも扱ってもらいたい、世界のの人に食べてもらいたい」と語った。

クーラーボックスはイベントでチーズを販売する際に使用する。(平田成範)